

# 防食性と旧塗膜に対する付着性に優れた 簡易補修塗装用エアゾールスプレー

一液形変性エポキシ樹脂塗料

# SRI防食スプレー-K

弱溶剤タイプ



■特許第4562345号  
(株)四国総合研究所との共同開発品

# 日常点検時の簡易補修塗装用エアゾールスプレー 反応硬化形変性エポキシ樹脂系防食塗料

# SRI防食スプレーK

## ■特長

- 簡便性:**エアゾールタイプなので、現地で簡単に補修塗装ができる。
- 高防食性:**反応硬化形変性エポキシ樹脂塗料なので優れた防食性を発揮する。
- 旧塗膜適性:**旧塗膜に対する付着性などの適性に優れる。  
(旧塗膜が塩化ゴム系塗膜の場合には試し吹きを行ってください。)

## ■用途

送電鉄塔、鋼構造物の簡易補修用

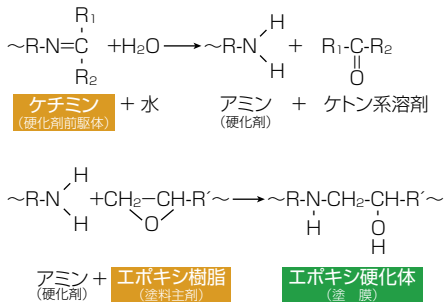
## ■塗料性状

荷 姿	300ml
色	グレー
高 圧 ガ ス	D.M.E
労安法上の表示有害物	キシレン、メチルイソブチルケトン
使用有機溶剤種別	第3種有機溶剤等
消防法による危険物区分	第4類 第1石油類 危険等級Ⅱ 火気厳禁
基発477	エポキシ樹脂、ケチミン

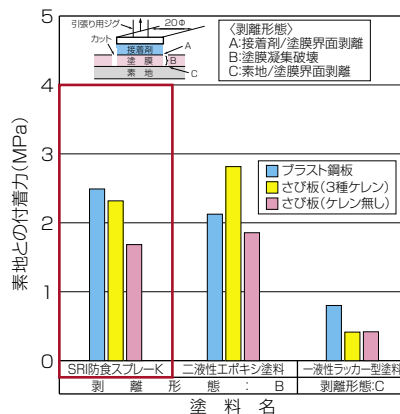
## ■塗膜性能

### 一液性反応硬化型塗料の反応機構

#### SRI防食スプレーKの反応機構



### 付着性:アドヒージョンテスト結果



### 防食性:塩水噴霧試験(100hr)

塗料名	塗膜厚(μm)	○変化なし △発錆小 ×発錆大/ふくれ			
		プラスト鋼板	さび板(2種ケレン)	さび板(3種ケレン)	溶融亜鉛メッキ鋼板
SRI防食スプレー	80	○	○	○	○
	40	○	○	○	○
二液性エポキシ塗料	80	○	○	○	○
	40	○	○	○	○
一液性ラッカー型塗料	80	△	△	×	△
	40	△	×	×	×
SRI防食スプレー	80	○	○	○	○
	40	○	○	○	○
二液性エポキシ塗料	80	○	○	○	○
	40	○	○	○	○
一液性ラッカー型塗料	80	○	○	○	○
	40	○	○	○	○

## ■注意事項

### 予 防 策

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。

吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。

皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。

火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。

火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。

裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。

本来の目的以外に使用しないこと。

指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。

缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。

取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。

使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。

本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

### 対 応

目に入った場合: 直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合: 直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

吸入した場合: 空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。

火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

### 保 管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。

直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。

子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

### 廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

\*その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)をご参照ください。

## 関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ  
www.kansai.co.jp

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757  
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073  
北関東信越 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

東京 TEL(03)5711-8902 FAX(03)5711-8932  
中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981  
大阪 TEL(06)6203-7952 FAX(06)6203-5603

中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285  
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950  
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

\*本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご諒承ください。

(23年02月09刷PPO)カタログNo.342